

箱根古期外輪山三国山ハイキング

日時：2022年9月29日（木） 曇 健脚LV1 歩数：22000歩 距離：12.5km

集合：JR小田原駅改札 7時30分

コース：小田原駅バス停（7時45分）～箱根町港バス停（標高723m）～道の駅箱根峠（標高805m）
～海ノ平（標高941.5m）～山伏峠（標高1035m）～三国山（標高1101.8m）～
湖尻峠（標高850m）～深良水門～湖尻水門～桃源台（標高741m）（バス）～小田原駅バス停

参加者：常盤 河野（L） 市村 風間

9月29日、箱根古期外輪山三国山ハイキングに出かけました。箱根古期外輪山について、フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』は次のように書いています。

箱根火山の活動は約40万年前に始まり、何度も噴火を繰り返して、約25万年前には古箱根火山と呼ばれる標高2700mにも達する富士山型の成層火山が形成された。その後も噴火を繰り返し約18万年前に空洞化した地下に山の中心部が陥没して大きなカルデラが誕生した。このとき周りに取り残されたのが塔ノ峰、明星ヶ岳、明神ヶ岳、丸岳、三国山、大観山、白銀山など海拔1000m前後の「古期外輪山」である。

今回は、箱根町港から芦ノ湖の西側の古期外輪山コースを歩き湖尻・桃源台までのハイキングです。海ノ平から湖尻峠までは左手に芦ノ湖スカイライン、右手下に芦ノ湖が見え隠れするコースです。晴れていれば前方に富士山が見るはずでしたが、あいにくの曇り空でした。コース最高峰は三国山の1101.8m。平日とあって、出会ったのは電動草刈り機で山道を整備している作業員の方のみ、ハイカーには出会いませんでした。



三国山（標高1101.8m）山頂

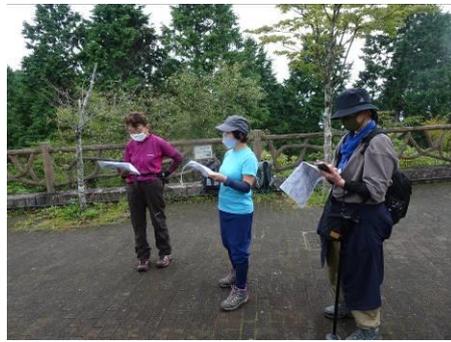
箱根町港(標高 723m)～国道1号線～箱根旧街道～9時10分道の駅箱根峠

集合は大きな小田原提灯が掲げられているJR小田原駅改札前。箱根登山バス3番線乗り場へ、「2022年10月1日から平均で15.5%の値上げをします」の貼り紙。小田原駅～箱根町港間は、1200円が1340円へ140円の値上げになります。バスは7時45分に発車、1時間かけて箱根町港バス停へ到着。風間さんが待っていました。あいさつを交わして8時45分にスタート、国道1号線の緩やかな上り道を歩いて行きます。途中から旧街道に入り、石畳の釜石坂を上って行きます。再び国道1号線に出たところに「箱根旧街道」の道標がありました。その先に道の駅箱根峠が見えてきて9時10分に到着。



道の駅(標高 805m)9時35分～外輪山周廻歩道～石段～アザミの花

道の駅箱根峠の標高は805m、国道1号線沿いにある神奈川県「道の駅」第1号でもあるため、「1号線くしの道の駅」とも呼ばれています。国道1号線はここから函南方面へ少し上って箱根峠(標高846m)です。ストレッチをして、河野さんからコース説明を受け、9時35分にスタート。国道1号線を横断して外輪山周廻歩道に入ります。まずは石段の洗礼、道標の方向は山伏峠を示しています。木段、土道を繰り返しながら高度を上げて行きます。電動草刈り機で山道を整備している作業員の方と抜きつ抜かれつ、ハイカーには1人も合いません。日当たりの良いところに出たところでアザミの花が出迎えてくれました。



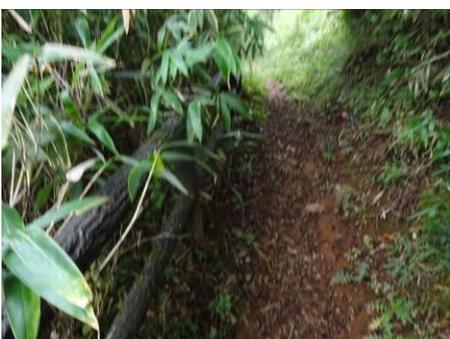
マツムシソウ アキノキリンソウ～左は芦ノ湖スカイライン 右は芦ノ湖

「紫の花はマツムシソウ、黄色の花はアキノキリンソウ」と常盤さんが教えてくれました。名前の由来は、マツムシソウは「高原のお花畑を彩るさわやかな花で、昆虫のマツムシが鳴くころに咲くのでこの名がつけられた」、アキノキリンソウは「キリンソウと似たような黄色の花を秋に咲かせることからつけられた」とのことです。まさにその高原の緩やかなアップダウンの道を進みます。左手に芦ノ湖スカイライン、右手に芦ノ湖が見え隠れするようになりました。海ノ平はすでに通り過ぎてしまったようで「レストランレイクビュー」のところまで来てしまいました。ヤギが飼われていたのでパチリ、芦ノ湖を展望しながら小休憩。



霞む芦ノ湖展望 11時25分～山伏峠～アップダウンの山道～板橋

吹き上げてくる風が少し冷たい、曇り空で芦ノ湖対岸の景色は霞んでしまっています。甘栗やお菓子の差し入れで英気を養い11時25分にスタート、めざすは三国山。緩やかな尾根道を上って行き、木段をかなり下ったところが山伏峠、標識がなければ行き過ぎてしまうようなところでした。再び芦ノ湖スカイラインに出ました。標識には「この先自動車専用道路、歩行は禁止」と書かれています。上って下ってアップダウンの山道、時折自動車のエンジン音が聞こえてきます。前方下、沢のところに丸太橋が見えてきました。



丸太橋～昼食 12時45分～13時10分 三国山(標高1101.8m)

丸太橋を渡ります、右側は沢が切れ込んでいます。また木段の上り道が続きます、15分ほど上ったでしょうか、時刻は12時25分。めざす三国山まではもう少し時間がかかるようです。大分お腹も空いてきています、シートを敷けるスペースを見つけて昼食タイムとしました。12時45分、お腹にご飯が入って力がついたところでスタートです。20分以上上ってきて、空が開けてきたのでどうやら山頂のようです。道標があり「箱根からは7.3km、湖尻峠へ2.1km」地点です。山頂標柱もあり、判読しにくいのですが「三国山標高一〇一・八米」と記されていました。13時10分、三国山山頂到着です。



三国山 13時20分～湖尻峠(標高850m)～14時50分 深良水門

三国山踏破記念写真を撮って13時20分、湖尻峠、深良用水へ向けて下山開始です。少し進んだところに紫の花を咲かせたトリカブト、10数年前の和歌山トリカブト殺人事件が話題になりました。「三国山から1.9km」の道標、湖尻峠まではあと300m。今度はアケビがなっていました。14時25分、左側に芦ノ湖スカイラインが出てきて三叉路に、ここが湖尻峠のようで、ここから湖尻方面へ下って行きます。少し下ると苔の生えた石畳道、滑るので風間さんのストックを借りての下山となり、この間写真撮影なし。一気に100mほど下って14時50分、芦ノ湖の水を取水している深良水門まで下りてきました。



深良水門～芦ノ湖湖畔道～15時20分 早川源流地点の湖尻水門

深良用水は、箱根山をトンネルで貫き、芦ノ湖の湖水を静岡県裾野市に引くために造成された灌漑用水路。長さは1280m、箱根用水とも呼ばれています。徳川4代将軍家綱の時代の1666年に工事を開始して1670年に完成しました。ここからは芦ノ湖湖畔の平坦な道、ゆったりと歩き15時20分に湖尻水門へ着きました。ここが早川の源流ですが、水は流れていません。芦ノ湖の湖水は本来、早川に注いでいたのですが湖尻には水門が設置されています。通常はここを水が流れていません。芦ノ湖の水利権は静岡県側にあり、神奈川県側では勝手に使うことはできません。台風などで芦ノ湖の水位が増したときに放流されます。



湖尻新橋～15時40分 桃源台 歩数：2万2000歩 距離：12.5km

早川に架かる湖尻新橋を渡り、桃源台方面へ進みます。右手は芦ノ湖キャンプ村、ゆるやかに下って15時40分に桃源台へ着きました。2万2000歩、12.5km、安全に楽しく充実感のあるハイキングでした。16時丁度発の小田原行きに乗車、宿泊ホテルへ向かう観光客で満席状態でした。平日とあって湯本手前の交通渋滞はなく、1時間丁度の17時に小田原駅に着きました。



久しぶりに健脚LV1コースを歩きました。河野さんの軽快な歩き、その河野さんにピタリとついて行ったクラブ加入1年足らずの風間さん、年齢を感じさせない堅実歩きの常盤さん、みなさん日頃からトレーニングに励んでいるなと痛感、元気をもらいました。リーダーの河野さんは「下見ハイキングとして計画しました。標高差は380mほどですが、湖尻峠から深良水門までの約100m下る苔むす石畳道が滑りやすいし、大勢だと時間がかかり、16時に桃源台に着くのは難しいので、KWCコースでの計画は困難だと思いました」と感想を述べています。

(いちむら記)